

# 第1回「兵庫県特殊詐欺集中対策本部会議」次第

日時:令和5年11月29日(水)10:00~10:45

場所:兵庫県2号館5階庁議室

1. 会議の趣旨・スケジュール等
2. 特殊詐欺の現状  
自動録音電話機のデモンストレーション
3. 現在の取組み状況
4. 今後の取組み方針

# 出席者・陪席者

## 【出席者】

(兵庫県特殊詐欺集中対策本部の構成員)

	所属・職名等	氏名
本部長	知事	齋藤 元彦
副本部長	警察本部長	村井 紀之
	副知事	片山 安孝
	副知事	服部 洋平
本部員	総務部長	小橋 浩一
	企画部長(事務局長)	守本 豊
	県民生活部長	井ノ本 知明
	福祉部長	生安 衛
	県警生活安全部長	蓮井 賢一

## (事務局)

事務局次長	企画部次長(事務局次長)	川井 史彦
-------	--------------	-------

## (現状分析等説明者)

説明者	県警犯罪抑止対策統括官	仁科 年正
-----	-------------	-------

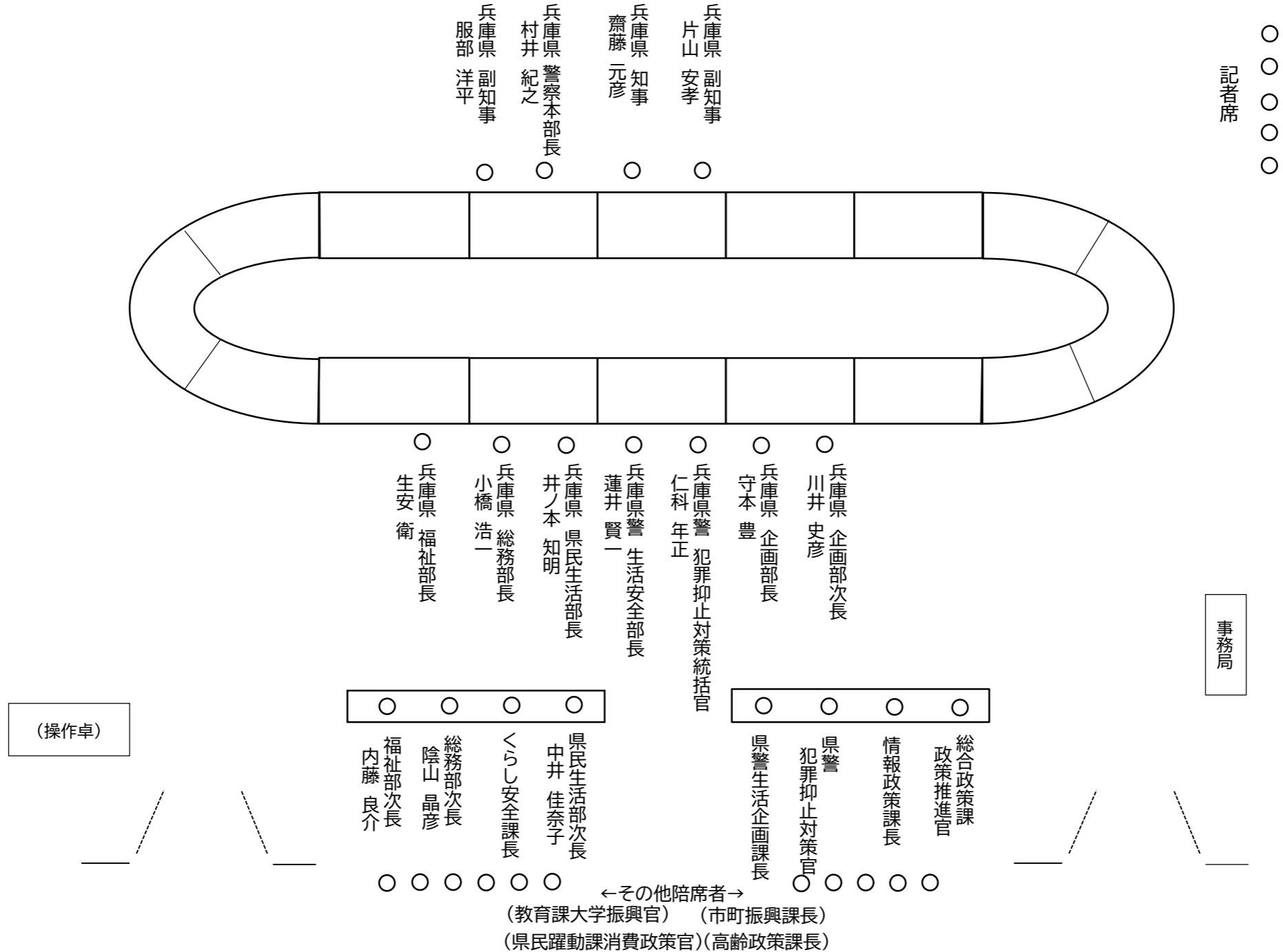
## 【陪席者】

所属・職名等	氏名
総務部次長	陰山 晶彦(欠)
県民生活部次長	中井 佳奈子
福祉部次長	内藤 良介
総務部市町振興課長	細川 敬太
総務部教育課大学振興官	宮原 芳文
企画部情報政策課長	木南 晴太
県民生活部県民躍動課消費政策官	戸敷 幸
県民生活部くらし安全課長	宮崎 伸一
福祉部高齢政策課長	田畑 司
県警生活安全部生活安全企画課長	藤川 真実
県警犯罪抑止対策官	齋藤 健司

## (事務局)

企画部総合政策課 政策推進官兼副課長	青田 亮
-----------------------	------

# 配席図



# 1. 会議の趣旨・目的、検討内容、スケジュール

## ○ 趣旨・目的

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加している現状を踏まえ、対策の強化を全庁横断的に検討・実施する。

## ○ 検討内容

- (1) 高齢者を中心とした特殊詐欺の水際防止対策
- (2) 被害にあわない、巻き込まれないための普及啓発の強化

## ○ 当面のスケジュール

第1回本部会議: 令和5年11月29日(現状・課題分析、今後の取組み方針)  
第2回本部会議: 令和6年1月頃 (被害の未然防止に向けた具体的取組み)  
市町連絡会議 : 令和6年3月頃 (各市町との連携施策の共有)

## 2. 特殊詐欺の現状

# 特殊詐欺とは

被害者に電話をかけるなどして  
対面することなく信頼させ、指定  
した預貯金口座への振込みその他  
の方法により、不特定多数の者か  
ら現金等をだまし取る犯罪の総称

# 手口分類（10類型）

## ○オレオレ詐欺

親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。

## ○預貯金詐欺

親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）もの。

## ○架空料金請求詐欺

未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。

## ○還付金詐欺

税金還付等に必要手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る電子計算機使用詐欺事件又は詐欺事件。

## ○融資保証金詐欺

実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。

## ○金融商品詐欺

架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関する虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、その購入名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。

## ○ギャンブル詐欺

不特定多数の者が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と掲載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信する等し、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して会員登録料や情報料等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。

## ○交際あっせん詐欺

不特定多数の者が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載したり、不特定多数の者に対して「女性紹介」等を記載したメールを送付するなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して会員登録料金や保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）もの。

## ○キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、同キャッシュカード等を窃取するもの。

## ○その他の特殊詐欺

前記類型に該当しない特殊詐欺。



# 還付金はATMでは 受け取れません!



ある日、自宅の電話に  
役所の職員をかたる者が  
電話がかかってきました。



電話の内容は、  
「戻金のあるATMへ行き、  
手続をお願いします。」  
と指示されました。



早速近くのATMへ行き、  
携帯電話で指示された通り  
ATMを操作しました。



その後、通帳残高を確認  
するとお金が大幅に取られて  
いたことがわかりました。

## 具体的な手口

- 役所の職員をかたって、自宅に電話をかけてきます。
- 土曜日や休日の役所が休みの日でも、犯人からの電話はかかってきます。
- 「すぐに手続きをしないとお金が返ってこない。」と言って、焦らせます。
- 携帯電話で通話しながら、ATMの操作方法を指示してきます。
- 言われたとおりにATMを操作すると犯人の口座に振込手続きをさせられ、お金を騙し取られてしまいます。

## 防犯ポイント

- ATMを操作して還付金の手続きはできません。
- 「還付金」と言われれば、まずは電話を切って、家族や警察に相談しましょう。
- 役所から「還付金があります。」と電話がかかってくることはありません。

## ATMでの携帯電話はダメ!!

- 携帯電話で通話しながらATMを操作するのはやめましょう。
- 携帯電話で通話しながらATMを操作している人を見かけたら、ATMの操作を中断するように声を掛けましょう。

# 表示された連絡先には 電話しないで!



ある日、インターネットを  
閲覧中、架空料金請求の  
メッセージが表示され、  
「ウイルスに感染した  
とメッセージが表示  
されました。」



画面に表示された  
連絡先に電話すると  
「ウイルス対策をする  
サポート費用が必要です。」  
と言われました。



ある日、架空料金請求の知らない  
番号から「〇〇カードの  
返金手続きをお願いします。」  
と連絡が来ました。このとき、  
「〇〇カードの返金手続きは  
コンビニでお願いします。」という  
メッセージが表示されました。



画面に表示された連絡先に  
電話すると「〇〇カードの  
返金手続きはコンビニで  
お願いします。」と  
言われました。

## 防犯ポイント

- 画面に表示された連絡先には電話しないでください。
- 身に覚えのない料金請求のメッセージが届いた場合は、家族や警察に相談してください。
- ニセ画面が表示されたら、画面を閉じるか電源を切ってください。
- 「コンビニで〇〇カードを買って。」と言われたら詐欺です。



連絡先の番号は、ATMの  
返金が振り込まれる〇〇カード  
を購入して手続きする  
というメッセージ  
が表示されました。



画面のとおりに〇〇カードを  
買い、画面に初期設定された  
返金手続きの案内に従って  
買ったカードの利用履歴を  
だまし取られてしまいました。

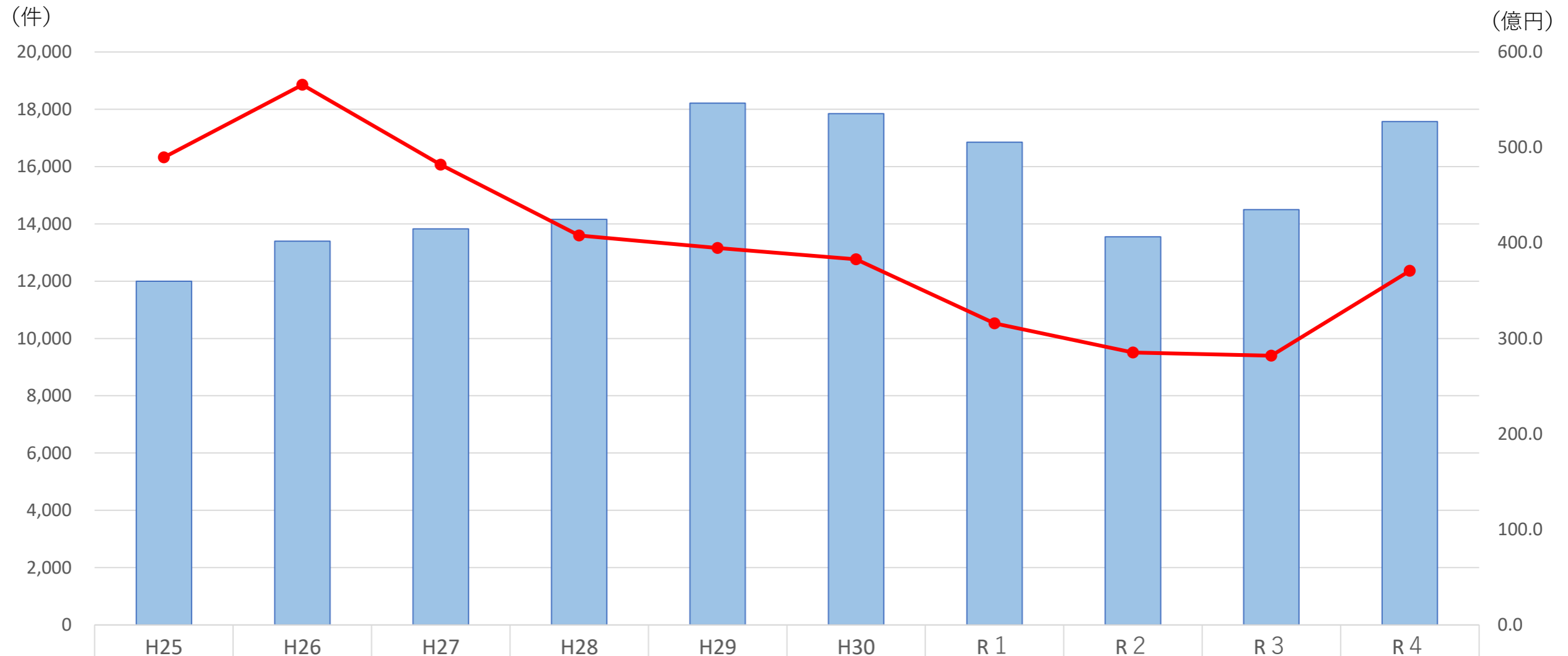
## 具体的な手口

- 「一旦支払ってもらえば返金される。」と言葉巧みに騙します。
- コンビニで〇〇カード(電子マネー)を買うよう指示します。





# 認知件数・被害額の推移（全国）



認知件数	11,998	13,392	13,824	14,154	18,212	17,844	16,851	13,550	14,498	17,570
被害額（億円）	489.5	565.5	482.0	407.7	394.7	382.9	315.8	285.2	282.0	370.8

# 令和5年の認知件数・被害額（全国）

令和5年9月末現在（全国統計が一月遅れのため9月末）

○ 認知件数

**14,024件**

（前年同期比 +1,818件、+15%）

○ 被害額

**約302億1千万円**

（前年同期比 +約50億円、+20%）

# 全国7都府県の認知件数・被害額（令和5年9月末）

## 【認知件数】

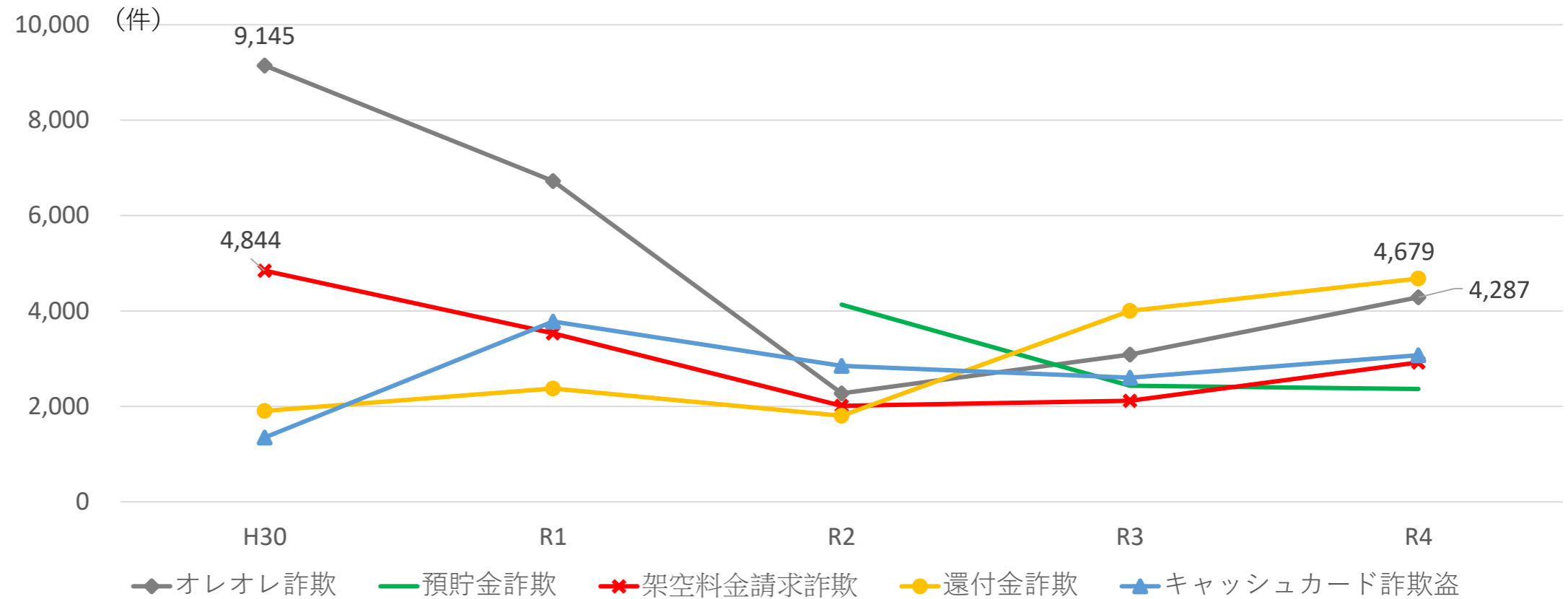
No.	都道府県	件数
1	東京	2,065
2	大阪	2,051
3	神奈川	1,520
4	千葉	1,044
5	愛知	1,044
6	埼玉	965
7	兵庫	889

## 【被害額】

No.	都道府県	(万円)
1	東京	570,964
2	神奈川	295,291
3	大阪	272,604
4	千葉	223,171
5	埼玉	219,333
6	愛知	200,670
7	兵庫	145,575

上記7都府県で全国の認知件数の約7割を占めている。

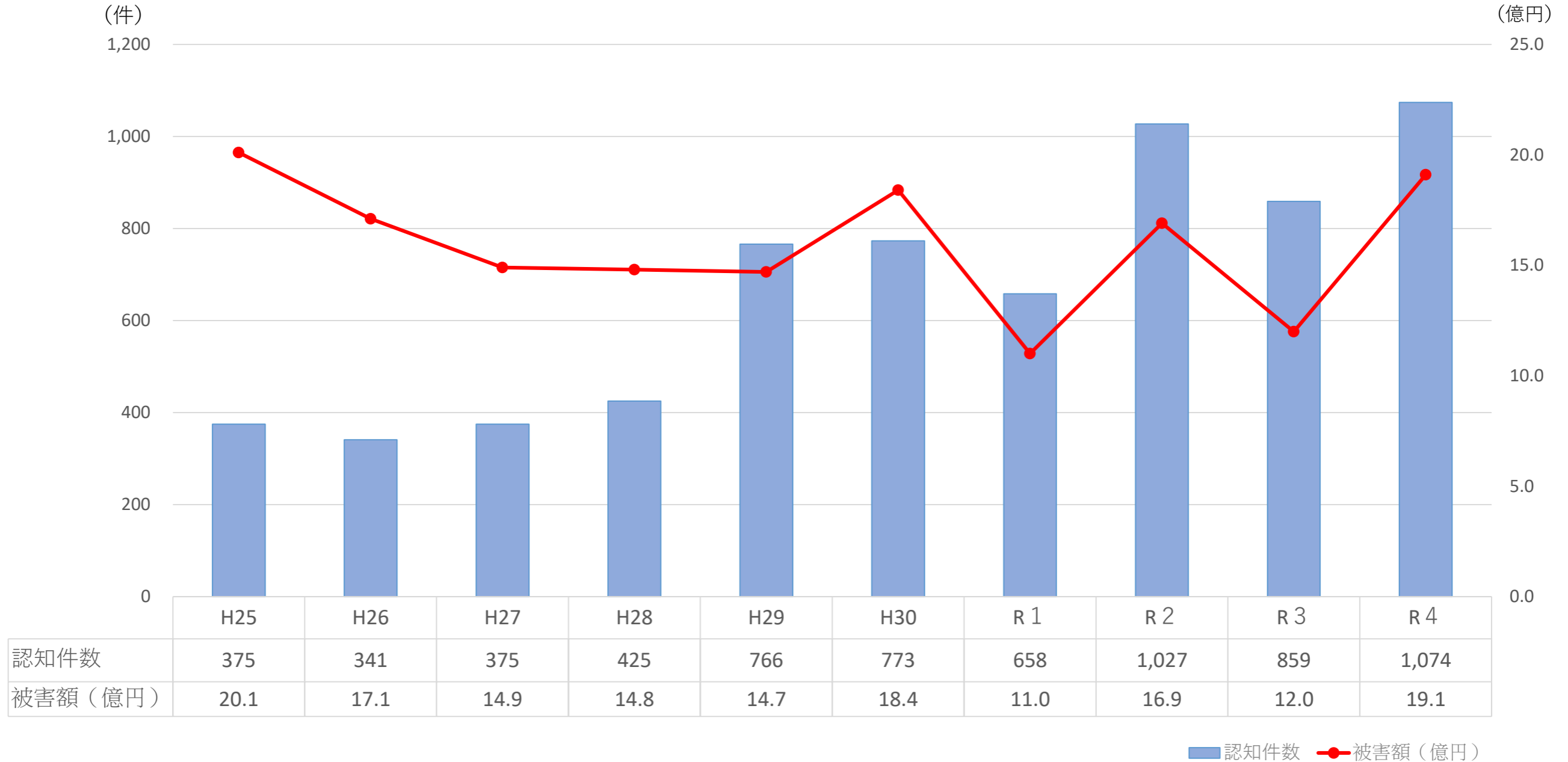
# 手口別の認知件数の推移（全国）



	H30	R1	R2	R3	R4	R4.9	R5.9	増減
オレオレ詐欺	9,145	6,725	2,272	3,085	4,287	2,839	3,006	167
預貯金詐欺			4,135	2,431	2,363	1,654	2,079	425
架空料金請求詐欺	4,844	3,533	2,010	2,117	2,922	1,996	3,755	1,759
還付金詐欺	1,904	2,375	1,804	4,004	4,679	3,262	3,010	-252
キャッシュカード詐欺盗	1,348	3,777	2,850	2,602	3,074	2,278	1,722	-556
上記以外	603	441	479	259	245	177	452	275
合計	17,844	16,851	13,550	14,498	17,570	12,206	14,024	1,818

※預貯金詐欺は令和2年以降に統計開始

# 認知件数・被害額の推移（兵庫県）





# 令和5年の認知件数・被害額（兵庫県）

令和5年10月末現在

○ 認知件数

**1,026件**

（前年同期比 +185件、+22%）

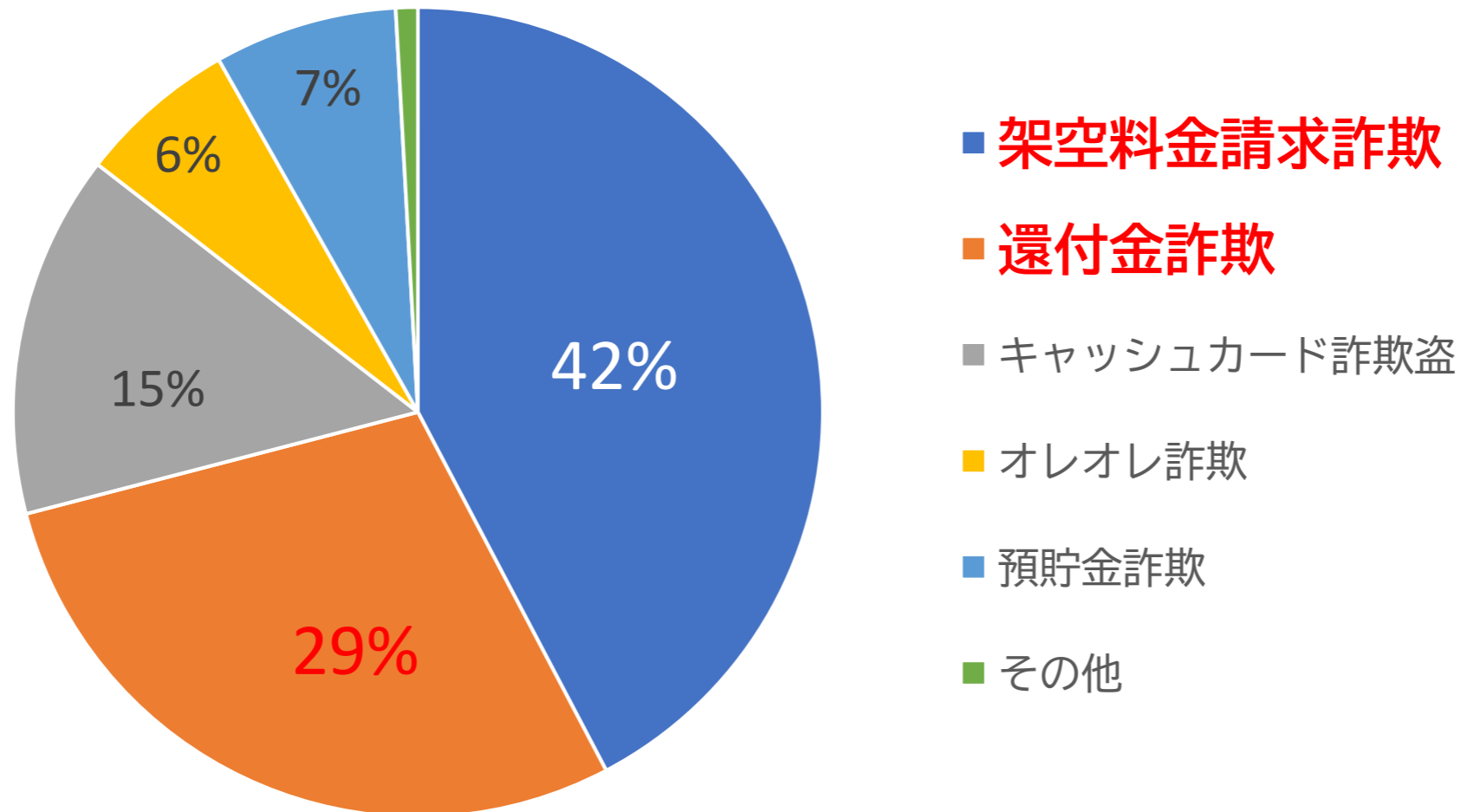
○ 被害額

**約1億4千万円**

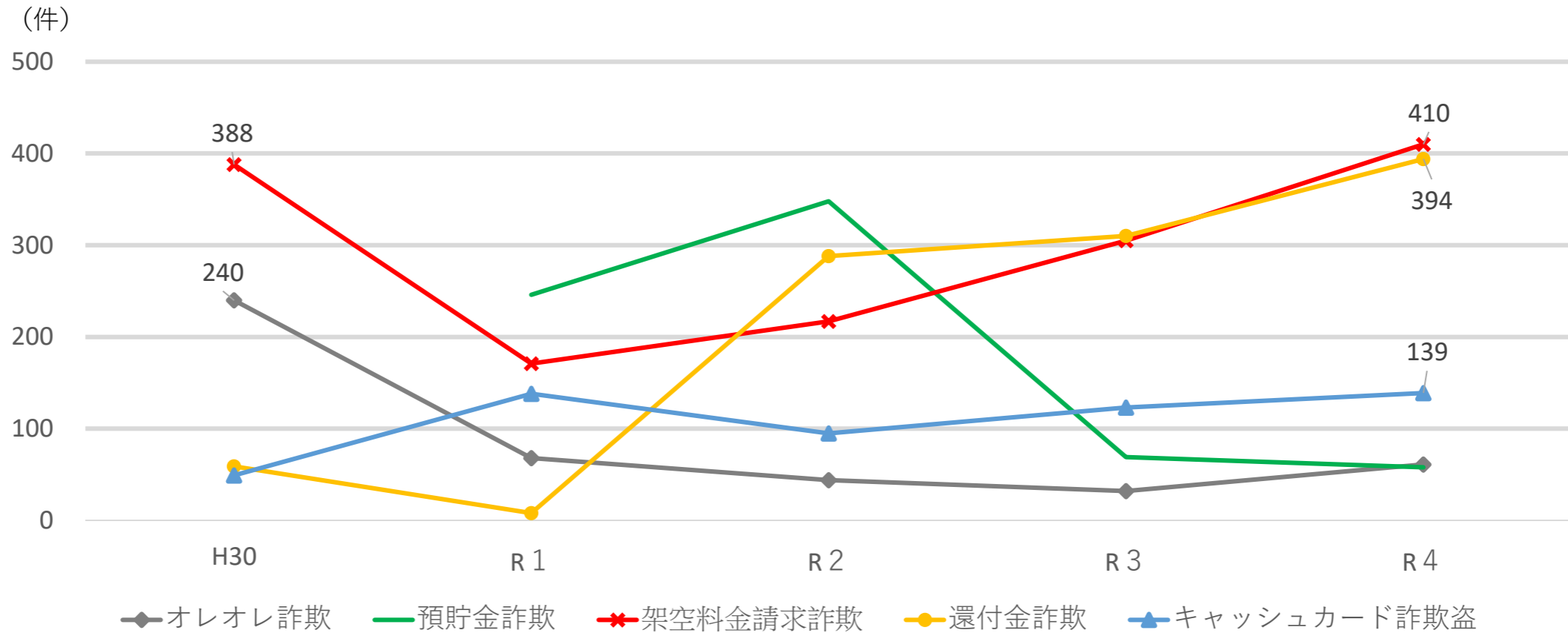
（前年同期比 +3億6千万円、+28%）

# 手口別の発生状況（兵庫県）

「架空料金請求詐欺」と「還付金詐欺」で  
全手口の約7割を占めている。（令和5年10月末）



# 手口別の認知件数の推移（兵庫県）

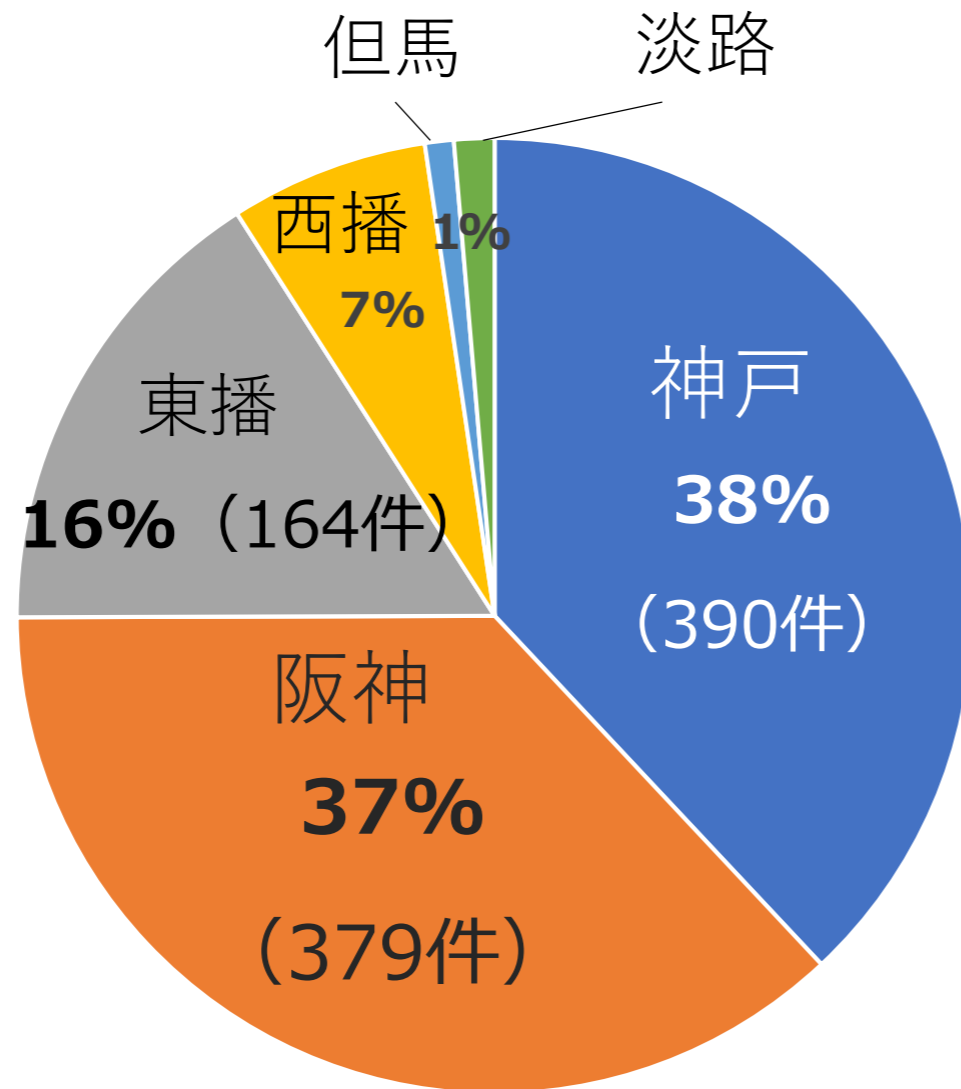


	H30	R1	R2	R3	R4	R4.10	R5.10	増減
オレオレ詐欺	240	68	44	32	61	42	65	23
預貯金詐欺	-	246	348	69	58	53	75	22
架空料金請求詐欺	388	171	217	305	410	327	434	107
還付金詐欺	59	8	288	310	394	303	294	-9
キャッシュカード詐欺盗	49	138	95	123	139	105	149	44
上記以外	37	27	35	20	12	11	9	-2
合計	773	658	1,027	859	1,074	841	1,026	185

※預貯金詐欺は令和元年以降に統計開始

# 地域別の発生状況 (令和5年10月末)

「神戸・阪神地域」で約8割を占めている。



## 【令和4年中】

阪神40% (433件)

神戸35% (376件)

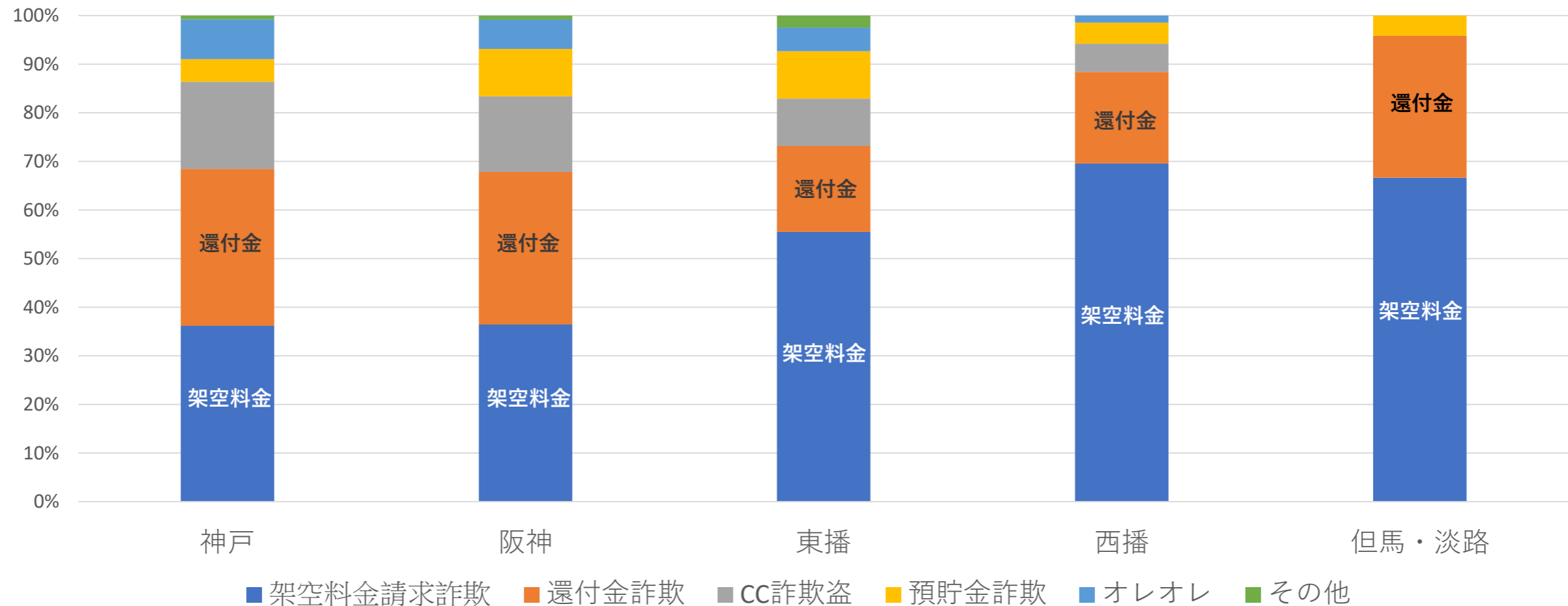
## 【令和3年中】

阪神42% (361件)

神戸35% (303件)

# 地域別の手口別発生状況（令和5年10月末）

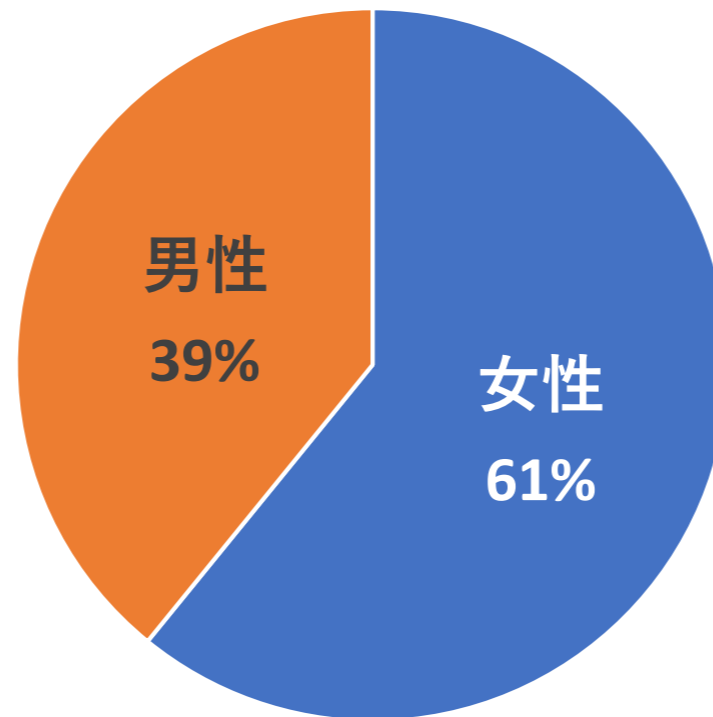
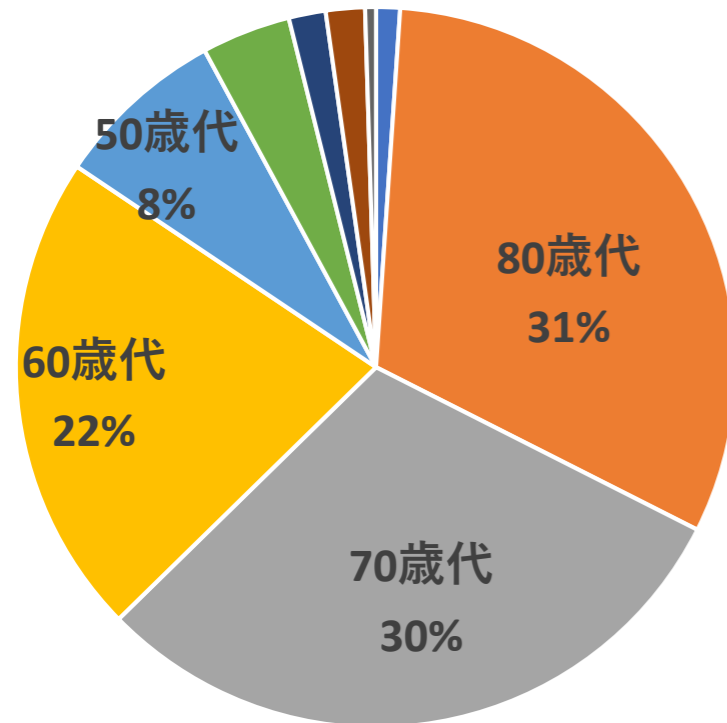
神戸・阪神地域は「架空料金請求詐欺」、「還付金詐欺」の割合が高い。  
東西播地域、但馬・淡路地域は、「架空料金請求詐欺」の割合が高い。





# 被害者の年齢層・性別（令和5年10月末）

高齢者（65歳以上）が、約8割（77%）を占めている。  
女性が約6割を占めている。



## 【令和4年中】

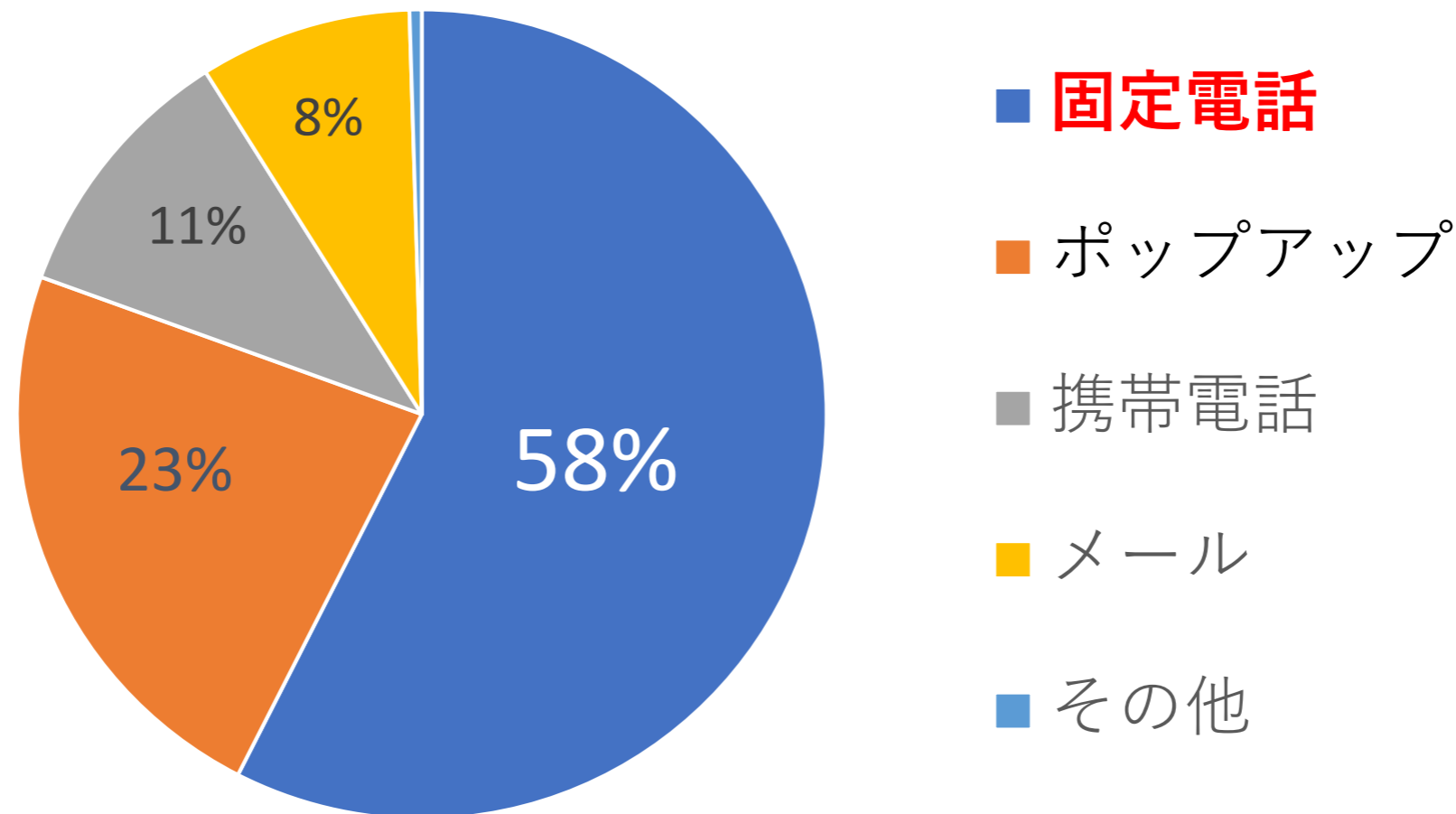
65歳以上 81%  
女性 61.5%

## 【令和3年中】

65歳以上 78%  
女性 62.5%

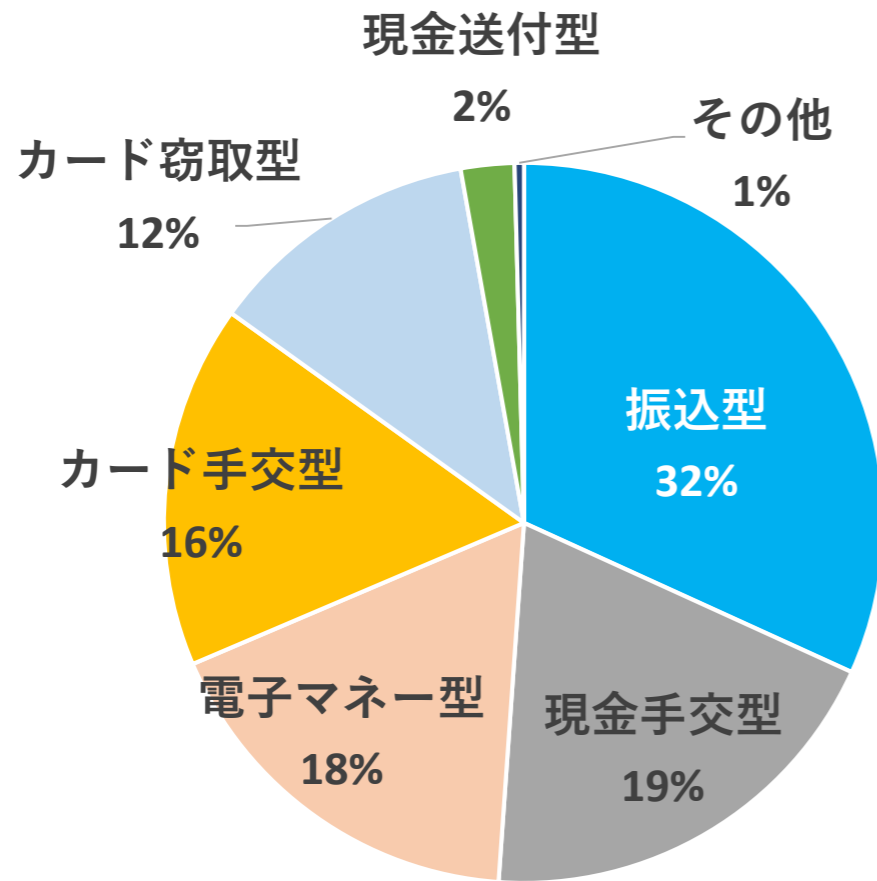
# 犯人からのアプローチ（令和5年10月末）

「固定電話」が約6割を占めている。

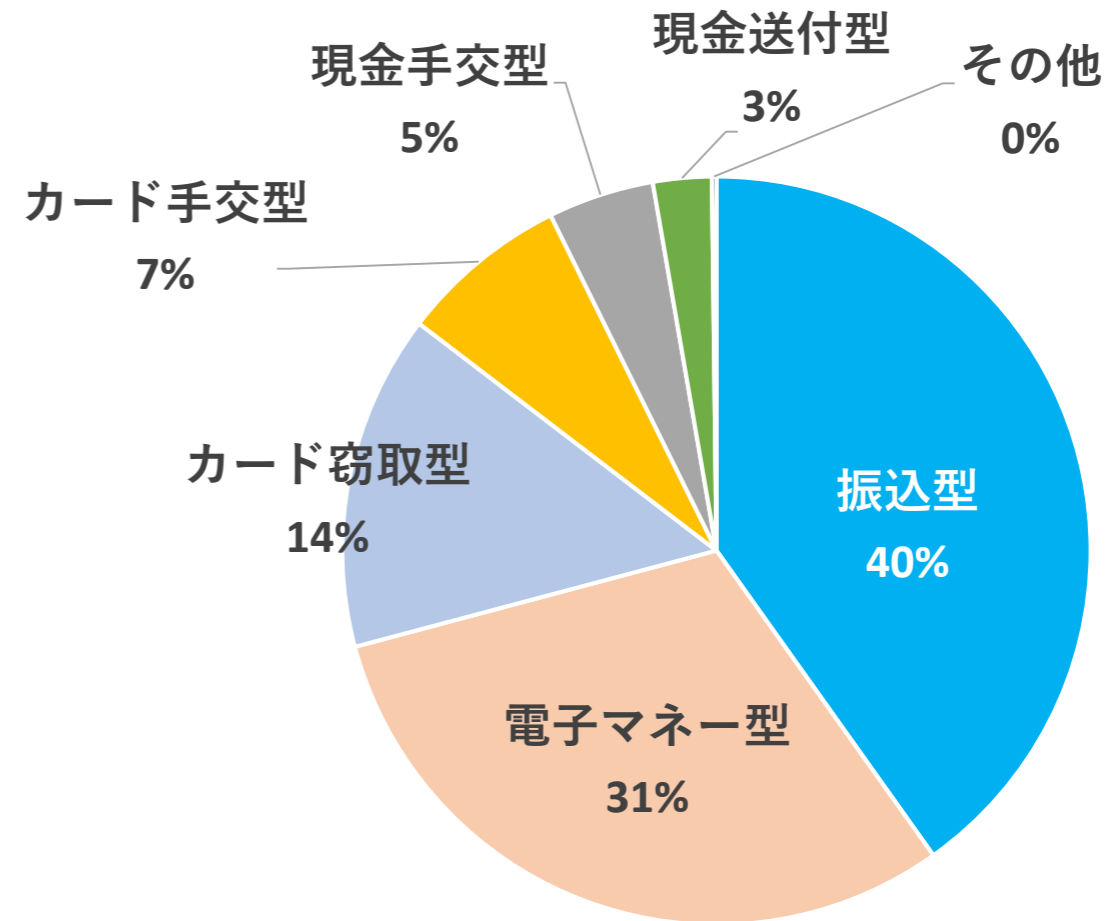


# 交付形態別（全国・兵庫県）

全国（R5.9）

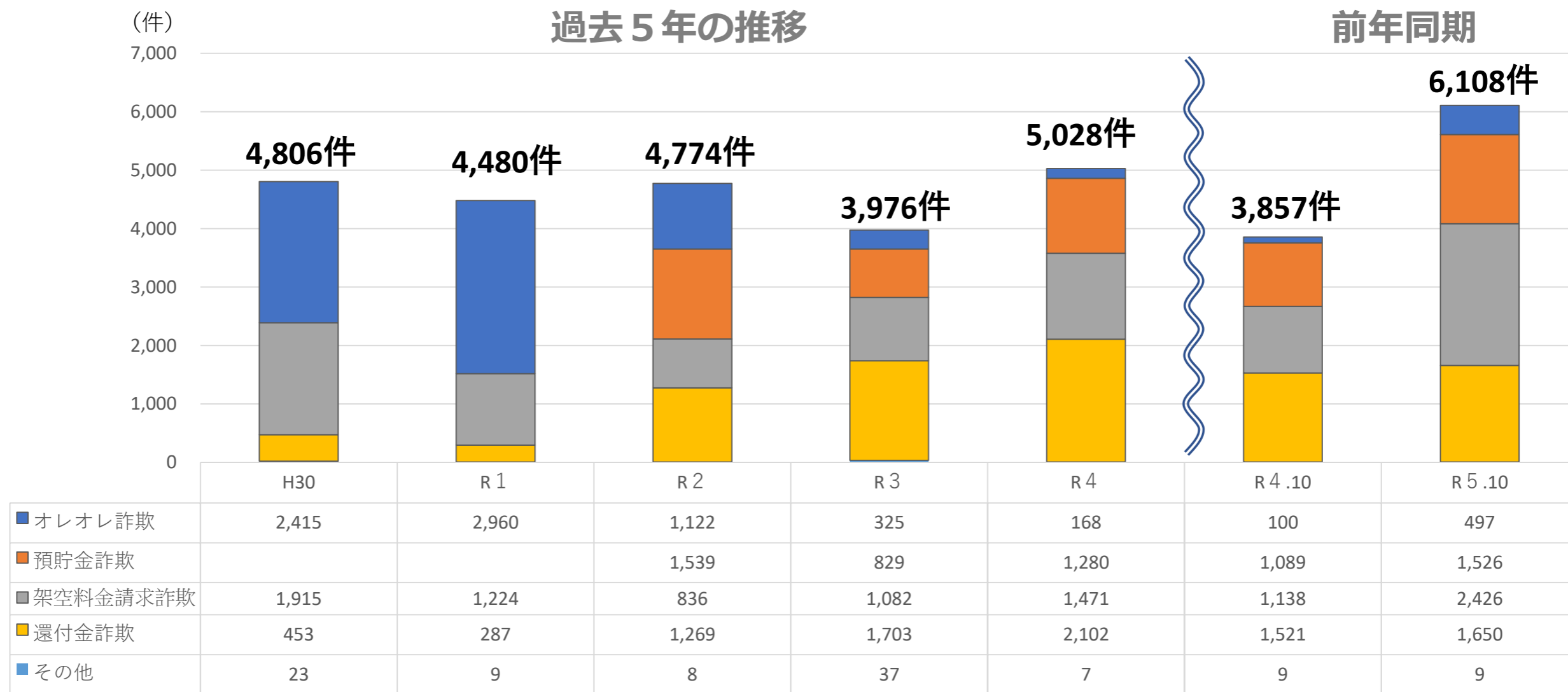


兵庫県（R5.10）



兵庫県下では、振込型・電子マネー型が約7割を占めている。

# 相談件数の推移（兵庫県）



※預貯金詐欺は令和2年以降に統計開始

前年同期比で、**2,251件（58%）**増加している。

# 自動録音電話機のデモンストレーション



# 3. 現在の取組状況

# 現状の取組状況(警察本部)

## でんでんむし運動の推進～固定電話対策～

- 自治体への自動録音機能付電話機購入補助事業等の創設・拡充の働き掛け（令和5年度は15市町が実施）
- 高齢者やその家族等に対する自治体の補助事業等を活用した固定電話機の防犯対策の推奨
- 防犯協会と連携した自動警告機能付通話録音装置の配布、貸与（全防連1,181台、県防連2,200台）
- NTT西日本の無償化サービスの利用促進（新規利用世帯：ナンバー・ディスプレイ5,740世帯、リクエスト7,620世帯※R5.10末現在）
- 国際電話休止サービスの利用促進



**特殊詐欺の被害に遭わないために**

特殊詐欺の犯人からの電話のほとんどが自宅の固定電話にかかってきます。犯人からの電話を受けないための固定電話対策が被害防止の第一歩です!!

ご存じですか?

特殊詐欺被害を防止するためのNTT西日本の取組

- ① **ナンバー・ディスプレイおよびナンバー・リクエストの高齢者無償化受付** 受付開始日：2023/4/1  
70歳以上の契約者または70歳以上の方と同居している契約者の回線を対象として、ナンバー・ディスプレイおよびナンバー・リクエストの月額利用料および工事費を無料とします。(※1)
- ② **特殊詐欺対策サービスの無償化** 申込受付期間：2023/4/1～2023/10/31  
特殊詐欺対策サービスの月額利用料および工事費を、申込受付期間・申込数を限定して一定期間無料とします。  
無償化適用期間：2023/5/1～2023/3/31 無償化適用人数：(5,000名を対象)
- ③ **電話番号の変更に関する工事費の無償化**  
特殊詐欺等の犯罪被害を受けた場合、または受けるおそれがある場合は、お客様からの申し出により電話番号変更の工事費を無料とします。

※NTT東日本・NTT西日本の2023年3月22日News Releaseより抜粋

これらの取組に関する詳細情報やお問い合わせは  
NTT西日本 特殊詐欺対策ダイヤル 0120-931-965  
(営業時間：午前9時～午後5時(年末年始12/29-1/3を除きます))  
に、電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします。

## 高齢者対策～戸別訪問活動の強化～

- 高齢者宅への戸別訪問による注意喚起（戸別訪問実施数：340,342世帯※R5.10月末現在）
  - ・ 手口や対処方法について説明
  - ・ 高齢者の家族に対して、被害防止に関する協力依頼を連絡
- ※ 令和4年7月以降、特殊詐欺被害防止のため、戸別訪問活動の推進を強化
- 電話機対策として、留守番電話設定等の補助を実施（丁寧な防犯指導）
- 兵庫県老人クラブ連合会及び神戸市老人クラブ連合会と特殊詐欺被害防止に関する協定を締結（R5.8）
- 神戸市福祉局との連携（情報提供制度の開始）（R5.10～）



# 現状の取組状況(警察本部)

## 官民一体となった被害防止活動の推進

- 還付金詐欺対策～「ストップ！ATMでの携帯電話」運動の推進～
- 「特殊詐欺水際阻止協力の店（家）」の設置  
（13,634軒※R5.10末現在）～ATM近隣の店舗や  
住民にATM利用者への声掛けと通報を依頼

オートコールシステムによる協力者へのタイムリーな情報発信  
※ ひょうごTECHイノベーションプロジェクトによる試行運用（R5.12～R6.1）



- 架空料金請求詐欺対策～コンビニエンスストアによる被害防止対策の促進～  
電子マネー購入客への説明シートの活用促進（R5.9～）  
コンビニへの毎日の立寄りによる被害防止の協力依頼
- 学生防犯ボランティア「ブルーフェニックス隊」の発足、  
啓発活動の実施（R5.6～）

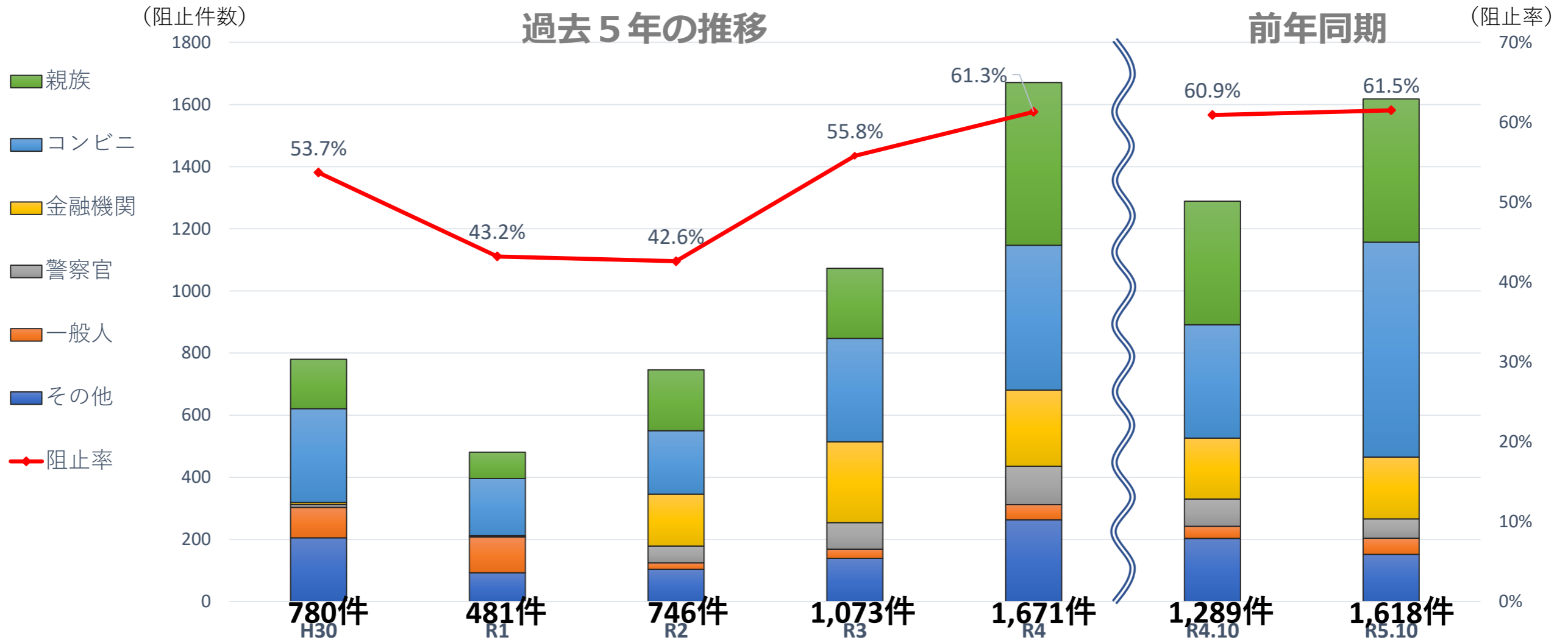
**電子マネーを購入しようとする方へ**

兵庫県警察では、電子マネー（POSAカード）を購入される方に購入理由を確認の上、通報を要請しています。  
警察官がまもなく到着しますので、今しばらくお待ちください。  
警察への通報について説明を求められる場合は、以下の連絡先まで直接お電話していただけますようお願いいたします。  
貴重なお時間をいただくこととなり、誠に申し訳ありませんが、特殊詐欺被害防止のため、ご理解とご協力をお願いします。

【連絡先】		
兵庫県	警察署（	係）
〒		（内線）

兵庫県警察

# [参考] 水際阻止件数の推移 (兵庫県)





令和2年以降、水際阻止件数・阻止率ともに上昇。  
特にコンビニ・親族における阻止件数が増加している。

※ 阻止率 =  $\frac{\text{阻止件数}}{\text{既遂件数} + \text{阻止件数}}$



# 現状の取組状況(知事部局)

対策	概要	備考																															
<p>自動録音電話機等普及促進事業</p>	<p>高齢者の特殊詐欺被害を未然に防止するため、市町が実施する自動録音電話機の普及促進事業を支援</p> <table border="1" data-bbox="893 429 1719 970"> <tr><td>補助対象</td><td>市町</td></tr> <tr><td>対象経費</td><td>市町が行う自動録音電話機補助事業費</td></tr> <tr><td>補助要件</td><td>65歳以上の高齢者</td></tr> <tr><td>補助率</td><td>市町負担の1/2</td></tr> <tr><td>上限額</td><td>電話機購入：4,000円 外付け録音機購入：2,000円 貸与：1,500円</td></tr> <tr><td>予算額</td><td>8,925千円(2,300台)</td></tr> <tr><td>補助市町数</td><td>15市町</td></tr> <tr><td>開始時期</td><td>R4.4.1～</td></tr> </table>	補助対象	市町	対象経費	市町が行う自動録音電話機補助事業費	補助要件	65歳以上の高齢者	補助率	市町負担の1/2	上限額	電話機購入：4,000円 外付け録音機購入：2,000円 貸与：1,500円	予算額	8,925千円(2,300台)	補助市町数	15市町	開始時期	R4.4.1～	<p>【実績】</p> <p>■令和4年度：13市町が実施</p> <table border="1" data-bbox="1917 429 2474 722"> <tr><th>区分</th><th>補助台数</th><th>補助金額</th></tr> <tr><td>電話機購入</td><td>2,287台</td><td>8,989,900円</td></tr> <tr><td>録音機購入</td><td>56台</td><td>110,000円</td></tr> <tr><td>録音機貸与</td><td>85台</td><td>113,800円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,428台</td><td>9,173,700円</td></tr> </table> <p>■令和5年度：15市町で実施</p>	区分	補助台数	補助金額	電話機購入	2,287台	8,989,900円	録音機購入	56台	110,000円	録音機貸与	85台	113,800円	合計	2,428台	9,173,700円
補助対象	市町																																
対象経費	市町が行う自動録音電話機補助事業費																																
補助要件	65歳以上の高齢者																																
補助率	市町負担の1/2																																
上限額	電話機購入：4,000円 外付け録音機購入：2,000円 貸与：1,500円																																
予算額	8,925千円(2,300台)																																
補助市町数	15市町																																
開始時期	R4.4.1～																																
区分	補助台数	補助金額																															
電話機購入	2,287台	8,989,900円																															
録音機購入	56台	110,000円																															
録音機貸与	85台	113,800円																															
合計	2,428台	9,173,700円																															
<p>簡易型警告・自動通話録音機【録音チュー】の配布</p>	<p>特殊詐欺被害防止のため、県警と連携し、固定電話に取り付ける「簡易型警告・自動録音通話機」を高齢者世帯に配布</p> <table border="1" data-bbox="893 1126 1719 1493"> <tr><td></td><th>県</th><th>県警</th></tr> <tr><td>配布対象</td><td>地域安全まちづくり推進員が対象世帯に配布・設置</td><td>被害リスクが高いと思われる高齢者世帯に対して布・設置</td></tr> <tr><td>配布数</td><td>4,000個</td><td>12,000個</td></tr> <tr><td>予算額</td><td colspan="2">1,000万円(16,000台)</td></tr> <tr><td>実施時期</td><td colspan="2">R2.9～R4.7</td></tr> </table>		県	県警	配布対象	地域安全まちづくり推進員が対象世帯に配布・設置	被害リスクが高いと思われる高齢者世帯に対して布・設置	配布数	4,000個	12,000個	予算額	1,000万円(16,000台)		実施時期	R2.9～R4.7		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1965 1141 2200 1417"> <p>受話器上部に本体を貼り付け</p>  </div> <div data-bbox="2290 1141 2550 1417"> <p>マイクをスピーカー部に貼付け</p>  </div> </div> <p>【機器設置の状況】</p>																
	県	県警																															
配布対象	地域安全まちづくり推進員が対象世帯に配布・設置	被害リスクが高いと思われる高齢者世帯に対して布・設置																															
配布数	4,000個	12,000個																															
予算額	1,000万円(16,000台)																																
実施時期	R2.9～R4.7																																



# 現状の取組状況(知事部局)

## 水際対策

対策	概要	備考
【再掲】 オートコールシステム による協力者へのタイムリーな情報発信	ひょうごTECHイノベーションプロジェクトで県警とメディアリンク株式会社が連携  特殊詐欺の水際阻止協力者に必要な防犯情報等をタイムリーに提供することにより、協力者が適切な防犯行動をとり、犯罪等の被害を阻止することを目指す	特殊詐欺のアポ電は、特定の地域に集中して連続発生する傾向があり、被害防止のためには、アポ電の発生時にタイムリーに当該地域の住民等に対して注意喚起を行うことが重要

# 現状の取組状況(知事部局)



## 普及啓発

対策	概要	備考
防犯ボランティアに対する普及啓発	<p>県内各地で結成された「まちづくり防犯グループ」に対して特殊詐欺被害防止のための啓発を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 圏域の地域安全まちづくり推進員の研修会に警察官を派遣し、特殊詐欺被害防止に関する防犯講話を実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5年度研修受講人数：528人</li> </ul> </li> <li>○ 県下まちづくり防犯グループに対し、特殊詐欺被害の現状・対策について啓発する防犯活動通信を配布(年2回)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内防犯グループ数：2,100グループ(R5.9末)</li> </ul> </li> </ul>	 <p>【研修会の様子】</p>
闇バイト防止対策	<p>青少年が闇バイト、裏バイトに応募し、特殊詐欺や強盗などの実行役となることを防止するため、関係機関に対する啓発を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 闇バイト防止の啓発チラシを、青少年育成に関わる団体・企業等に配布し、連携して啓発活動を実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布先：コンビニ、自治会、PTA協議会、小・中・県立の学校長会など</li> </ul> </li> <li>○ 少年鑑別所入所者に対して闇バイト防止に関する講話を実施予定(令和5年12月～)</li> </ul>	 <p>【闇バイトチラシ】</p>



# 現状の取組状況(知事部局)

## 普及啓発

対策	概要	備考
<p>高齢者・障害者等の特殊詐欺等被害防止啓発事業</p>	<p>高齢者等の消費者トラブルの未然・拡大防止のため、消費者トラブルに関する新たな事例や対処法等についての啓発活動や出前講座を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 高齢者等消費者被害防止ネットワーク連絡会議・研修会の開催</li> <li>(2) 高齢者・障害者等の消費者トラブル防止啓発活動の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県が実施するイベント等で、市町・県警等と連携して啓発を実施</li> </ul> </li> <li>(3) 高齢者・障害者等向け出前講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) R4開催実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 連絡会議・研修会                   <ul style="list-style-type: none"> <li>県内各地域の消費者センター等で開催 9回</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) R4啓発実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者消費者被害防止キャンペーン                   <ul style="list-style-type: none"> <li>時期: 高齢者保健福祉月間(9月)</li> <li>内容: 県・市町で集中開催</li> <li>セミナー(11カ所)、出前講座(14カ所)、啓発活動(29カ所)、展示(2カ所)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(3) R4出前講座開催実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>260回開催</li> <li>8,140人参加</li> </ul> </li> </ul>
<p>デジタルデバйд解消プロジェクト</p>	<p>高齢者のデジタルデバйд解消・スマホの更なる利用拡大に向け、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) スマートひょうごサポーターの養成               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スマホの基本操作や行政サービスの利用を教えることができる人材を養成する研修を開催 (基本編: YouTube動画による講義、応用編: 対面講義)</li> </ul> </li> <li>(2) スマホ講習の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市町・携帯電話事業者と連携しスマホの基本操作や行政サービスの利用に関する講習会を実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) R4受講者数               <ul style="list-style-type: none"> <li>基本編のみ: 107人</li> <li>基本編+応用編: 81人</li> <li>合計: 188人</li> <li>※基本編で特殊詐欺対策の動画を視聴</li> </ul> </li> <li>(2) R4受講者数               <ul style="list-style-type: none"> <li>市町: 17</li> <li>講習: 59回</li> <li>受講者: 737人</li> <li>※受講者に特殊詐欺対策の各種チラシを配布</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: right;">  <p>基本編動画</p>  <p>配布チラシイメージ</p> </div>

## 4. 今後の取組方針

# 今後の取組方針

課題		取組の方向性
<p>犯人からのアプローチが最も多い<b>固定電話への対策が必要</b> (固定電話へのアプローチ:約6割)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>固定電話対策の必要性①</b> -録音装置利用者のアンケートの結果(H30)-</p> <p>[調査方法] 事前警告機能付通話録音装置の無料貸し出しを行った利用者へのアンケート調査(貸与者2,500人中1,779人回答)</p> <p>[回答(効果)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 装置を設置してよかった 1,652人(92.9%)</li> <li>● 迷惑電話がなくなった、減った 1,484人(83.4%)</li> <li>● 防犯意識が高まった 1,622人(91.2%)</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>固定電話対策の必要性②</b> -逮捕された詐欺犯人の供述-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 声が録音されるのが嫌なので、留守番電話や防犯メッセージが流れた場合は、すぐに電話を切っている(仲間もそうしている)</li> <li>● 留守番電話の家には二度と電話しない。次々に電話をかけてすぐに電話に出してくれる人をだました方が効率的である</li> <li>● だまされたくないなら電話に出ないのが一番</li> </ul> </div> </div> <p><b>固定電話対策の必要性③</b> -警察庁報告書(特殊詐欺の手口と対策[R5.4.13])-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 警視庁では、R4.11月から特殊詐欺の被害者側の通信手段の詳細な調査を開始</li> <li>● 固定電話は「履歴が残らない」「着信拒否できない」ことが多く、特殊被害グループの心理において「固定電話を狙う」方向に働く事情であると考えられる</li> <li>● 機能を実現する電話機の購入は、金銭的負担や契約事務の手続き、電話機の設定作業の負担は、高齢者の方々にとって、決して軽いものではない。そのため、機械的・自動的な着信拒否等の取組が進んでいない</li> </ul>	水 際 対 策	<p>[取組方針①] 自動録音電話機等の 更なる普及促進</p>
<p>被害の未然防止に向けた<b>幅広い普及啓発が重要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害の約8割を占めている<b>高齢者(65歳以上)への対策</b></li> <li>・ 被害の約8割を占めている<b>神戸・阪神地域に重点をおいた対策</b></li> </ul>	普 及 啓 発	<p>[取組方針②] 傾向を捉えたきめ細 やかな普及啓発</p>

# 特殊詐欺緊急総合対策[15億円]

## 取組方針①

### ■自動録音機能付電話機等普及促進事業の拡充 [13億円]

特殊詐欺被害防止に効果がある**自動録音機能付電話機等の機器購入費**に対する**補助事業(市町を通じた補助)**を拡充

- ・実施主体 市町
- ・補助対象 65歳以上の高齢者
- ・補助率 定額
- ・補助件数 130,000台(現行予算の50倍超)
- ・補助上限 自動録音機能付電話機購入:10,000円、  
外付録音機購入:5,000円

想定価格:12,000円

県	市町	本人負担
4,000円	4,000円	4,000円

現行

想定価格:10,000円

県
10,000円

拡充後

電話機等の実勢価格を踏まえ、想定価格を見直し、**全額県負担で実質無償化**

## 取組方針②

### ■特殊詐欺対策の普及啓発 [2億円]

多様化する特殊詐欺の手口や対策について幅広い周知を図るため、**県内各地**できめ細かく被害対策講習会を開催するとともに、**金融機関等高齢者がよく訪れる場所での普及啓発など、広く被害防止対策キャンペーンを実施**

#### 参考:県内市町の自動録音電話機等普及促進事業状況

県内15市町が、自動録音電話機等普及促進事業を実施中

※被害なしの市町は記載なし

※丹波篠山市、南あわじ市、神河町、香美町では被害はないが補助事業実施中

R4特殊詐欺発生状況と補助事業の実施状況

	認知件数	補助事業		認知件数	補助事業		認知件数	補助事業
神戸市	376	○	三木市	20	○	たつの市	3	○
西宮市	126	○	高砂市	20		加東市	3	○
尼崎市	113	○	豊岡市	10		洲本市	2	
宝塚市	63	○	赤穂市	10		加西市	2	
明石市	62		三田市	7		養父市	2	
姫路市	61		小野市	6		猪名川町	2	○
伊丹市	51		西脇市	5		多可町	2	
加古川市	44		淡路市	4		相生市	1	○
芦屋市	38		太子町	4	○	宍粟市	1	○
川西市	31		朝来市	3				